

平成30年度 読書活動年間指導計画

海田町立海田南小学校

1 学校教育目標

「考え 実践する 海田南っ子 (JAK)」

2 読書活動推進のための目標

- 読書習慣を身に付けさせ、主体的に本を読み、情操豊かな子どもを育成する。

3 各学年の目標

学年	目標	読書活動における付きたい力
1・2 年	楽しんで読書しようとする態度を育てる。	易しい読み物に興味をもち、読むことができる。 自分で好きな本を選んで読むことができる。
3・4 年	幅広く読書しようとする態度を育てる。	いろいろな読み物に興味をもち、読むことができる。 調べるための本を探して、活用することができる。
5・6 年	読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。	必要な図書資料を選んで、読むことができる。 図鑑や事典を利用して、必要な情報を読むことができる。

4 具体的な取組

(1) 読書習慣の定着を図る。

① 読書タイムを充実させる。

- ・月・水・木・金曜の8時15分～8時25分に行う。
- ・事前に本を選んでおき、時間内は立ち歩かず、しゃべらない。
- ・低学年においては、実態に応じて読み聞かせなどを取り入れながら、読書タイムを進める。

② 家族との読書活動を推進する。(南っ子ファミリー読書)

- ・担任は、月に1回ファミ読カードを集め、取組を学級で紹介する等してファミ読を奨励する。
- ・図書便りや校内放送で具体的な取組例を紹介する。
- ・学校での読書活動や、児童の読書冊数を保護者に知らせる。

③ 読み聞かせを推進する。

- ・読み聞かせボランティアと連携し、学級での読み聞かせを行う。
PTA 読み聞かせボランティア・・・1・2年生 (実施日は別紙配布)
町のお話し会・・・3～6年生 年に1回 1時間

④ 読書強化週間を設ける。(11月12日～11月16日)

- ・図書委員会を中心に計画し実施する。
- ・「図書祭り」を実施し、児童相互に読書を奨励しあう。

⑤ 図書の貸し出しを積極的に行う。

- ・図書委員会は大休憩・昼休憩の1日2回の貸し出しを行う。
- ・学校司書と連携し、各教科や特別活動などでも学校図書館を活用する。
- ・個人貸出以外に、学級貸出を推進し、各教科の学習と関連させながら幅広い読書を推進する。
- ・学年ごとに貸し出しの方法を決め、週に1回は本を借りることができるようにする。

⑥ 学年ごとの課題図書を設定し、学年に応じた読書ができるようにする。

- ・課題図書は次のページに載っている本とする。
1年生…新しい国語下 p.26～29 2年生…新しい国語上 p.96～99
3年生…新しい国語上 p.92～94 4年生…新しい国語上 p.86～89
5年生…新しい国語上 p.88～91 6年生…新しい国語上 p.82～85
- ・担任は一ヵ月ごとに、学級の児童がどのくらい課題図書を読めているか把握する。

⑦ 子ども司書の活動を充実させる。

- ・図書委員と子ども司書を連携させ、読書奨励のための取組を進める。
- ・子ども司書の活動を朝会や校内放送で全校に知らせる。

- (2) 読書環境の充実を図る。
- ①図書室の環境整備を行う。
 - ②必要に応じた本の購入を積極的に行う。
 - ③効果的な掲示物の作成をする。
 - ④図書だよりを発行する。
 - ⑤必要に応じて公立図書館との連携をする。
 - ⑥学級文庫を定期的に学級間で入れ替える。

5 学校図書館活用年間指導計画

	言語活動充実の 取組	朝読書の 取組	家庭の 取組	図書委員会の取組	子ども司書 の取組	図書担当職員	
4	各教科・道徳科・特別活動・総合的な学習の時間における学校図書館の積極的な活用	言語環境整備	読書タイム(月・水・木・金)における十分間の全校読書	南つ子ファミリー読書	年間活動計画作成 常時活動開始	図書利用指導 子ども読書の日	
5						購入図書計画 課題図書購入	
6					課題図書の紹介 (図書だより掲載)	子ども司書の決定 事前研修	購入図書紹介
7					しおり作り	海田町での 実地研修 (3日間)	青少年読書感想文コンクール募集要項配布 夏休みの読書案内
8							図書館整備
9					購入図書紹介 (図書だより掲載)		町内読書感想文コンクール募集
10					図書祭りの準備	読み聞かせ	読書週間指導
11					図書祭り	ブックトーク	古典の日
12					本の福袋準備	本の福袋準備	冬休みの読書案内
1					本の福袋	本の福袋	
2						活動報告 「子ども司書」認定証授与式	
3							蔵書点検

6 その他

- ・学級文庫は、担当が不要な本を処分し、整理する。